

蠟梅 Now

2016年4月14日21時26分、熊本を震源とするマグニチュード6.5、最大震度7の大地震が発生し、甚大な被害をもたらされた。本震だと思われたそれは、その28時間後に発生したマグニチュード7.3の地震により前震だと訂正され、その後も震度5~6レベルの地震が頻発し、さらには阿蘇山の噴火まで加わり、被害を拡大し続けている。

最近20年の震度7級の巨大地震だけをみても、95年に阪神・淡路大震災、04年に新潟県中越地震、11年に東日本大震災が起こり、そして今回、九州に大地震が起こった。

阪神・淡路大震災の勃発を切っ掛けに、地震防災対策の強化、特に地震による被害の軽減に資する地震調査研究の推進を基本的な目標とする政府の特別機関、地震調査研究推進本部が、同年設立された。

現在でも地震調査研究関係予算として年間100億円超が投入されているようであるが、現状の科学では地震予知は全く不可能とされており、地震本部が予知できないのは致し方ないといえる。それなら、地震を予知することより、起こったあとの被害を最小限に抑える策に尽力し、予算を注ぎ込んだ方がよっぽど建設的だと思われるが・・・。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、記録的な温かさとなった昨年、12月末にも開花するのではないかと思っていたのだが、1月中旬の猛烈な寒波の影響か、3シーズン連続の1月も最終週に入ってから開花となった。変わりのない、そこはかとなく漂わせる甘く、フルーティな香りに魅了される。

一方、二世は順調に越冬し、目にも鮮やかな新緑の若葉を纏った容姿がすがすがしい。あの忌まわしい東日本大震災が勃発した2011年、亡くなった多くの人々の命を受け継ぐかのように発芽し、5年目を迎える。発芽後5年ほどで開花するとも聞くがはて、その気配は窺えない。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>